

日本語は価値を創造する言語

英語が得意：市場創造

英国生まれの英語が、価値を創造する一番の特徴は、情報の伝達迅速性と思われ
ます。ここでの表記はアルファベット26文字で表現され、日常的な会話で使用す
る語彙数は8,000～10,000語と言われてます。かつて英国は、世界の1/4を植民地
支配しました。各植民地では言語が異なるため、英語を命令と服従にし、Yes/
Noによる二者択一を使い簡略化すると同時に、支配地の住民には教育をしません
でした。その結果、英語は自分中心の支配者にとって、無知な相手に命令が広く
迅速に通じる都合の良い言語となりました。この支配という概念のもと、力（強
さ・大きさ・多さ）による権力支配の価値観が中心となります。米国や中国が軍事
力を強化するのは、力による権力支配の価値観だからです。これは一つ間違え
ると戦争を誘引し、そこでの象徴的な武器が「核爆弾（今後はウィルス生物兵器
等）」であり、多くの犠牲者を出します。さまざまな問題に対して迅速な解決策
を出すことは重要ですが、それにより雑になり、多くの犠牲者や無駄が出やす
くなるのも事実でしょう。

しかし、その迅速性は、革新性（英国の産業革命を代表する、新たなものやこと
を生み出す力）と、マーケティング（米国に代表される、それらを安価にし、よ
り多くの人や地域に拡大し分配する）量による市場創造ビジネスにおいて、非常
に効率的で効果的と思われれます。

日本語が得意：価値創造

日本語での特徴は、その繊細さです。問題に直面し解決策を考える際、とても慎重
になり時間がかかるという弱点があります。そこでは、自分または自国中心でな
く、相手のこと、周辺のこと、環境のこと、100年先の将来のことなどのすべてを
調査し、配慮し、未来を見据えた安全で最良の対策を考えます。この姿勢は色々
な分野における製品やサービスに反映されています。例えば戦前の満州鉄道の車両関
係のブレーキオイルなどは日本製です。理由は日本製のオイルだけ、シベリアの極
寒地でオイルが凍結しなかったからです。現代では、水道水、洋服生地の元となる
化学繊維、鉄、銅、アルミニウムなど金属類の素材など、日本製のクオリティの高
さは、世界で認められています。さらにこれらの素材で作られた工業製品（自動
車、電車、航空機、船舶、バイク、自転車、刃物、工具、道具、工業用部品や機械、
ロボットなど）の多くは「Made in Japan」として、世界最高品質と言われてます。
かつて人間が月に降り立った米国のアポロ計画は、夢と勇気のある挑戦として感動
的でしたが、その後計画は中止しました。一方2003年に打ち上げられ、2010年に
帰還した日本の小惑星探査機「はやぶさ」は、平和で安全な無人機での長期間の挑
戦で、現在も「はやぶさ2」で進化しています。目先の利益はなくとも、安全と繊
細な利便性で洗練され、将来誰もが有用となり世界に貢献できます。つまり、質の
向上による価値創造ビジネスにおいて効果的と思われれます。

——日本語と英語の相違点——

英 語：ゆたかさを追求した勇気ある挑戦と迅速な行動

日本語：安全性・人命を尊重する慎重で繊細な計画・実行

①日本の歴史



©JAC INC.